

第9期鳥羽少年探偵団

おおもとのねまろみけつくに 大伴部祢麻呂と御食国の 調査を終えて



きょうみ しんしん とば いろ
興味津々鳥羽の色。

人材育成講座「地球塾」の特別講座としてスタートした「鳥羽少年探偵団」。鳥羽にゆかりのある偉人の足跡を探り、郷土の歴史、文化を学びます。

第9期目の今年度は、平城京跡から見つかった木簡（手紙や荷札として使われた木の板）を手がかりに、そこに記された大伴部祢麻呂という人物が生きていた時代背景を探りつつ、御食国といわれてきた謎を調査してきました。

これまでに6回にわたって調査を行ってきた少年探偵団の活動の様子をお知らせします。

教育委員会生涯学習課
☎⑤ 1 2 6 8



奈良県庁では荒井知事とせんとかくんが迎えてくれました

鳥羽少年探偵団の 一年を振り返って

平成21年5月30日に任命式が行われ、13人の団員で構成される第9期鳥羽少年探偵団が誕生しました。

同日に行われた第1回学習会では、木簡に記されている内容を読み解き、答志和具に住む大伴部祢麻呂さんと羊さんが、海草を調（税）として奈良の都に納めたときの荷札であることがわかりました。

第2回学習会では、海の博物館を訪れました。博物館では平賀大蔵学芸員から、木簡や豊富な海草の種類について、またそのころと現在では海の環境がかなり違っていったことなどをお話しいただき、鳥羽にある豊かな海の恵みについて知ることができました。第3回学習会は、答志島で8月23日から1泊2日の行程で行いました。

1日目は、自分たちで海の恵みを手に入れようとアラメの採集作業を行いました。海にはアラメ以外にもたくさん海藻が生息しており、初めて目にする団員も多く、感嘆の声を上げていました。その



答志島ではアラメの採集作業を行いました

後、大伴部祢麻呂の時代にあたる答志島内の遺跡について、鳥羽ガイドボランティアの会の濱口巖さんからお話を伺い、大畑遺跡を見学しました。団員たちは「大伴部祢麻呂さんもここでお仕事をしたのかな」と、その時代に思いを馳せていました。

2日目は、早朝から濱口さんとともに同じころ造られたと推定される岩屋古墳、蟹穴古墳を見学しました。その後、地元婦人会のみなさんにご指導いただき、海の幸を使った調理実習を行いました。団員たちは、魚の三枚おろしなど難しいことにも挑戦して苦労



海の幸を使った調理実習を行いました



平城京跡から見つかった木簡

して作った料理の出来栄えに満足していました。

第4回学習会は、11月14日、相差町の海女文化資料館を訪ねました。相差町内会長の中村さんに海女の歴史、文化、風習などのお話を伺い、館内を見学した後、海女小屋で海女さんの体験談を伺いました。

1月6日の第5回学習会は、これまでのまとめとして奈良へ県外調査に行きました。午前中は、国立奈良文化財研究所を訪ね、浅野専門員の説明を受けながら、木簡の作業現場を見学しました。今回、団員たちが調査してきた木簡の実物も見せていただき、



相差町の海女文化資料館を訪問しました

「思ったより小さい」などの感想を述べていました。
その後、平城宮跡の作業現場を見学しました。発掘の作業の手順、様子などを話していただき、当時の都の様子を垣間見ることができました。
午後からは、今期のクライマックス、奈良県知事へ海の幸の献上です。用意した品物は、第3回学習会で採集した答志のアラメ、本浦のヒジキ、菅島の黒ノリ、小浜のヒダコです。天平衣装に身を固めた団員たちが、荒井奈良県知事に贈呈しました。知事からは、「鳥羽と奈良は古くから結びつきがあり、さらに関係を深めていきたい」と歓迎の言葉をいただきました。
第6回学習会は、これまでのまとめを行い、地球塾講演



奈良県知事へ海の幸を献上しました

会に参加しました。講演会は、木簡や古代の答志島についての内容で、今期の学習と関連があり、団員たちは真剣に聞いていました。
第7回学習会は、3月6日(土)13時30分から鳥羽商工会議所かもめホールで行います。これまでの調査報告を団員たちが発表します。どなたでもご覧いただけますので、ぜひお越しください。
今期の探偵団は、地域のかたがたにたくさんのご協力をいただき、そのご厚意により学習や調査をより実りあるものにしていただきました。団員たちは、地域のかたがたの思いや地域での絆の大切さを学習と同時に学ぶことができました。ありがとうございました。

団員たちの感想

木簡を調べていくうちに、鳥羽の特産品もいっぱい分かってよかったです。自分たちは奈良まで車で行ったけど、大伴部祢麻呂はこんな所まで税を歩いて運んでいたんだなと思いました。

中村 友幸

昔の人たちは、歩いて整備もされていない道を何日もかけて奈良へ行つてすごいと思いました。木簡を通じていろいろな体験をして歴史のことを学べてよかったです。

小崎聡次郎

伊良子清白邸のセレモニーに参加したこと、奈良に行つたことが思い出に残っています。この1年間は、普段ならできないようなことができたとでもおもしろかったです。

世古 杏奈

木簡ひとつから志摩国の特産品や志摩国が昔、どんな国だったのかわかることができました。この1年間を通して鳥羽のことや奈良のことを学べてよかったです。

宇仁田舞歩

鳥羽から都にたくさん海の産物が送られたのは、鳥羽が自然豊かだということだと思っています。わたしたちはこの美しい自然を守っていかなければならないと思いました。

岡田 龍哉

アラメやワカメなどが木簡に書かれており、昔から有名だと知りました。そして、今その歴史が続いているのだと思いました。
また、この鳥羽はとてもすばらしいところだとあらためて思いました。

宮本 紗良

一番印象に残ったことは、1泊2日で答志に泊まったことです。鳥羽市は美しい自然のまちだと思いました。

勢力 瑠偉

木簡は調べれば調べるほど、おもしろいと思います。わたしはこれから木簡について知ったことをいろんな人に伝えたいと思います。

澤田 美央

答志島で鳥羽市の海産物を使った料理を作ったことが楽しかったです。

中村 桜

わたしは木簡とかについて、今までそんなに考えたことはありませんでしたが、今回いろいろ経験してみても、今まで知らなかったことを知ることができてよかったです。

松村妃爽香

蟹穴古墳などから出土されたものが謎を解くヒントになっていることを知り、自らヒントになるものを出土したいと思いました。少年探偵団に入っていなかったらわからなかったことを知れてよかったです。

上村 香鈴

これからも海を大切に、海産物がよく採れる鳥羽にしていきたいです。もっと鳥羽のことについて調べていきたいです。

西井 里奈

今まで大伴部祢麻呂の存在自体知らなかったけど、勉強していくうちにいろいろな事を知ることができたので、さらに鳥羽の歴史に興味がわきました。

寺本 亜矢